

「つないでいこう」

令和5年度 静岡県公立小中学校事務職員会
会長 高橋 豊

今年度も引き続き、静岡県公立小中学校事務職員会会長を務めさせていただきます袋井市立袋井中学校統括室長の高橋豊です。会員の皆様の御支援、御協力をいただきながら進めていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

コロナウイルス感染症が5類に引き下げられ、社会全体がWith コロナにより、通常的生活に戻ろうと舵を切りなおしています。生活や行動様式が簡素化・省略化されていたところやリモートで開催されていたものを元に戻し、コロナ前と同じようにしようとする流れの中で、私たち事務職員は、教育活動の変化に伴い多くの対応に迫られている状況が続いています。事務職員会としては、会員ひとりひとりが、常に目的意識をもち、歩みを止めないで、相互に関わり、持続可能な組織として、活動をつなげていけるよう取組み、支援や連携を図っていきます。

本会会則の第3条に、設置目的があり、「会員相互の緊密な連携のもと、学校事務に関する研究並びに会員の資質及び社会的地位の向上を図り、もって本県学校教育の振興に寄与する。」とあります。この目的に従い、今年度も研究を進めていきます。今年度の研究テーマを「子どもの豊かな育ちを支援する」としました。「校務マネジメントにおける職務上の役割の遂行」及び「専門性を生かして積極的に校務マネジメントに参画することのできる事務職員の育成」に関する研究活動の実践を通じて、小・中・義務教育学校における「教員が子どもと向き合う時間の確保」また、「学校におけるマネジメント機能の向上」を支援することにより、学校教育目標の具現化、すなわち、児童生徒の豊かな育ちにつなげることができると仮定し設定しました。

また、研究の重点を、「組織運営体制の構築」と「人材育成」とし、組織運営体制の構築に向けた事務職員の質の向上や学校事務の適正化と効率的な処理、業務の再配分に関する取組みを行うなど事務機能の強化を図っていきます。

研究内容は「事務機能の強化」と「事務職員研修計画の実践」の2点です。共同学校事務室等の共同実施組織の活用や関係諸機関との連携をしながら、事務機能の強化に向けた業務の再配分や学校事務の適正化・効率化について、先進地区の実践を参考にしながら、研究協議やデータ集積を行います。また、事務職員の育成については、各経験段階における資質・能力に係る到達目標の設定や中・長期的な視点に立って主体的に自己を成長させるための研修計画の立案、組織的な研修・指導への支援が必要不可欠です。そのため、各地区において「経験段階的到達目標」「自己研修計画」を有効活用できるように働きかけしていきます。

さらに、令和2年度から、新たにランドデザイン策定に向けて活動をしているところであります。これまでの「長期活動計画」や「コスモスプラン」からの思いを受け継いだ、新たな静岡県公立小中学校事務職員の全体構想を描くものであり、学校事務・事務職員の将来構想、長期的全体計画として、私たちの「道しるべ」となるようなものをと考えています。令和6年度内完成に向けランドデザイン策定委員会を中心に各地区からの代表の研究推進委員も加わって話し合いが行われています。

ひとりひとりが、主体的に事務職員会に関わることで、組織として大きな力となり、推進力が生まれます。事務職員会及び会員の皆様が、つながりを大切に、魅力ある組織及び事務職員として活躍できることを期待します。